

石川県教育支援センター

やすらぎ加賀通信

第146号 2022/12/16

かもまるくん
ですっ。



加賀市標章

相談状況

	来室相談	訪問相談	電話相談	合計	通室生徒
10月	7	15	1	23	0
11月	13	8	0	21	0

今年も残すところ十日あまりとなりました。皆さんにとって、今年はどうな一年だったでしょうか？ やすらぎ加賀教室では、相談件数が昨年と比べ増加しました。そこで、SVやSCと連携し、丁寧に細やかな対応を心がけてきました。

来年は、今年のような異常気象による災害の無い、穏やかな日々が続くよう願ってやみません。

SV 新谷先生の相談日

1月 (20日、27日)

2月 (3日、24日)

3月 (10日、17日)

時間 午後2時30分～4時30分
(全て金曜日)

SC 西崎先生の相談日

1月 (10日)

2月 (7日、28日)

時間 午前9時30分～12時30分
(全て火曜日)

第3回 研修会を開催いたしました

11月25日(金)15:30～16:50 於:加賀聖城高校ふれあいホール

今年度第3回研修会は、児童家庭支援センター ファミリーステーションいなみえん 主任心理士の浅田伸史氏を講師に迎え、講演会を開催いたしました。「自分で選べる自由 ～多様性に関われるということ～」という演題で、ご講演いただき、加賀市内の小・中・高校、特別支援学校、関係諸機関等から21名の参加者がありました。

浅田氏は、相談で最初に心がけるのは、目の前のこどもの「困っている」としっかり向き合うこと。

また、関わるときは、

- ① 私だったらこう思うな
 - ② あなただったらこう思うのかな
 - ③ 周りの人はこう思うんじゃないのかな？
- という、三つの視点を持つことが大切であると話されました。

特に、すぐに解決できそうもない事例においては子ども自身が、何かに気づき、自分で行動を選択していけるよう、支援していきたいものですね。



加賀フレンドシップ再始動

令和2年度、3年度と中止となっていた加賀フレンドシップ。今年度は実施することとなりました。金沢大学原田ゼミの学生6名が、市内小学校、中学校、のぞみ教室での児童生徒達の支援のお手伝いに来てくれました。10月17日に初顔合わせがあり、来年1月にかけて、約10回それぞれの学校や教室を訪れてくれます。



(加賀フレンドシップのオリエンテーション)
教員志望の大学生が多く、林相談員の説明を熱心に聞いている様子。



(児童といっしょに勉強する大学生)
勉強や運動、時にはレクリエーションを通して関係づくりに励んでいます。

SCからのひとこと

やすらぎ加賀教室スクールカウンセラー

公認心理師 西崎 伸子 先生



高校生向け講演で「悩みや不安があると答えた高校生の割合は約85%」という内容に、「多くの高校生が悩みを抱えているということを知り、自分だけではないのだ、ホッとした」という感想が少なからずあります。そして「悩みをほとんど人に話さず一人で苦しい思いで過ごしてきた」と。「"あなたたち一人一人がとても大切な存在で、自分を大切にしてほしい。"という言葉が心にしみた」という感想も多い。こういった感想から彼らは、様々な悩みを抱えながらも、人の言葉を受け止めて自分の心に灯をともし力を持っているのだと改めて驚かされます。

大人は、子どもを大切に思っているのは当たり前と、言葉にするのは照れくさい場合があります。でも時には、子どもを大切に思う気持ちを伝えることで、人知れず悩みを抱えた子どもたちが、元気を取り戻す場合があるかもしれません。そうした子どもたちの心に小さな灯のともるような言葉を伝えることも大切だと、しみじみ思うのです。